



小石のさざめき



蓬 恵碩

賽は投げられた

人に賽を投げて人は喜ぶ。サイコロコロコロ。ころころころ。

賽が言うには私は因果な存在で念を持っているわけで話というわけでもなしではございますが、投げられても困りますがなというておりますのに投げられてはイタイ痛いわけではございませんが、投げた方が痛いように嘆くこともないことはないことのようにだが、わしゃ知らぬといたくないのだけれども、そんな因果なサイコロ転がすのはいいのだが、このごろの流行りのうたでも私の中に入れとくれ。

異人館の珊瑚の化石

ちっちゃな物ではござりませぬけれども、わたくしは子宝をぼうぼうと潮に流して見送りました。

南の方から異人さんと呼ばれた人が記念に館の庭の目立つところに置いていたのだけれども、気付いてくれる人はいるのでございましょうか。寂しがり屋の女子高生がカメラでパシャリと撮ったけれども、もう写真は残っていないと聞こえておるぞ。

ん、おぼえているのでございましょうか。

酔狂なお人もいるものですね。

ごぼごぼ

ごぼっ

ぼうぼう

ぼう ぼう ぼう

はー

みいんな みいんな うまれたね

いってらっしゃい

はー

かえってきたのね わたし

ローズクォーツ

ほわほわー

すきって行って すきって行って

ローズを取り囲んであわい世界が始まる

ほんのり色づきうすくれない恋のやりとり

少女のおもちゃの指輪

しあわせになってね しあわせになってね

おとめからおとめへ さよならのとき よろしくてよ、と

泣きながら 卒業していく 春の門出

翡翠

私を掘り出さないで

私に光を当てないで。

トルコ石

えっへん ぼくってえらいんだよ
トルコに行っごらん
りっぱにつかわれてがんばっているよ
ぼくっていろんな知識を持っているのだけれども

こっそりと かくしているんだ

えっへん ぼくってえらいだろ

琥珀

あーいきもち とまっているね、じかん
とりこんだ虫のこえはしあわせの蜜のような
琥珀はたいがい無口なんだ
なぜかっというと せつなせつなにとどまっている
とてもここちいいんだよ

水切り石

こまります こまります！
水切りなんて向いていないんです
ちがうんです いしちがいです
ひらべったいからって なんですか
こまります こまります！

あ

ひゅ ひゅ ぽちゃ

あー

ごぼごぼ

こつん

わたし（なにしてまんねん）

苔むし「鶴は千年 亀は万年 石は千代に八千代に 堅くみがき生きなば さざれさざれて 光
るかな」

めのう

あわわわ あわわわ
なんだなんだ うめられちゃった
うらにわのかだんに
はー みずうみのあたりがこいしいなあ
つちのなかもいいけれど
わたしみたいなおたからを
ざっくざっくとつちにうえ
ちょっとひと休止させてくれるものもいるようだが

おまえをとおしてしか
せかいがみえないじゃないか

はー だいちのようらんはあたたかい
はー みずうみのあたりがこいしいなあ

たからづかにはぎにぎにぎやかしいほどだが
わしのころはおまえといっしょだよ